

日四廿月二

常磐每日新聞

定価 一月五十五銭 郵税五銭
廣告料 五銭 十二字 一行 金五銭 拾行 金十銭
日曜祭日の翌日休刊
発行所 常磐毎日新聞社
印刷所 常磐毎日印刷株式会社

本地の風光

眞、繼、雲、山

道德を基準とする人間世界は、善悪の世界である。如何にも善人もあれば悪人もある。しかし刑務所にうごめく同胞にも涙がある。彼れ貧せざれば果たして下獄したのであらうか。善人顔して上層を游泳する連中も一皮剥げば名利の慾を脱することは出来ぬ。彼れ果たして本統の善人であらうか。冷やかに檢し來れば、世に絶對の悪なるものはない。善といひ悪といふのは共に相對比較の話であつて泥棒は悪人であるも人殺しに比して善人であり、富豪の内に善人ありといはんもその富を占有して、貧乏人の一家心中を平氣で傍觀し得るといふのは、佛心を距ること遠きゆゑ、佛様に比して遙かに惡黨といふことになる。

要するに善惡とは二者以上を比較しての話である。若し一物の他に比すべき無くんば、天上天下唯我獨尊であつて、これを中道といふ。一色一香無非中道といふのは、世間の一塵一点といへども、比較をはなれた絶對の立場においては、そ

れが獨尊であり、中道であるといふを意味する。我が五尺の肉體は、長にもあらず短にもあらず、それはまことに獨尊であり中道であるが、杓子に比して長く、煙突に比して短くといふことになる。

左れば一たび相對の社會

ノート

大根を斜に切りとつたもので、魚の尾の方から鱗を起す様に擦つて行くと、完全に鱗が除れて、庖丁より工合がよい。

既に絶對の善人なるものなく、絶對の悪人たるものなしとすれば、吾人はそも何者なるかといふに、善惡正邪は縁により境に應じて念々に轉出するものであつて、さかのほればその本源は一つであるゆゑ、これを善惡不二、正邪一如といふのである。

笑話

ある工場で、毎朝門のところ立つて、遅れてくるものを聞く役目の男何時も聞き終ると『よろしい、これから』はさう云ふ事のないやうに……。

【朝】薄くす汁—そぎ豆腐 薄くす もみのり
【晝】磯焼き—えい薄作 りさ—えい—てふく
わぬ—せん推茸—三つ葉
【晚】ぬた—蛤 若しくは 鯛 わかめ

債鬼に責められては、心なき虚妄の罪を犯さねば叶はぬ。台家はこれを一念三千

文藝募集

一心十界と説き、一心には地獄より天堂にいたる十界宿り、一念にも三千の相を具すると見たのである。善人とひ悪人といふのは、善惡の含有量の比較であり、分拆である。

平一

食事

喫茶

電話四六番

北海屋の

磐城名産 製米糯

右發賣致しましたから何卒多少に不拘御用命下さる様御願ひ致します

●滋養豊富 味覺佳良ですから 御病人の御見舞に最適品。
●價格低廉 萬人の御口に適しますから一般家庭の御贈答用に最適品。

平二丁目 北海屋製菓部 電話三八八番

夜九時まで 御預り倉出し致します

平三丁目通り 旭屋一六銀行 電話四二五番

御料理 八千代 平町田町 電話三七五番

全外科 醫學博士 渡部 義夫
小兒科 女 醫 渡部 きい子
内科 平町田町大通り(電話二七七番) 渡部 外科

吉田眼科病院 平新川町十九 平紺屋町、電話六八番

産婦人科 院長 木村寅次郎 電話一六四番
産婦人科 醫師 木村寅次郎
内臓外科 醫師 木村寅次郎
整形外科 醫師 木村寅次郎
器泌尿科 醫師 木村寅次郎

三河産業博覽會 金牌受賞 昭和産業博覽會

かまぼこ 製造 用式儀 ねんどう 平町一丁目

お惣菜用 さつま揚 吉原場 電話一四一番

平町一丁目 電話一四一番

平町の豫算案

明日の町會に附議

第四校は土地豫約買収

平町の來年度歳入出豫算町會は明廿五日午前十時より開會されるが豫算總額は卅三萬六千九百六十圓であつて歳出經常部は廿七萬八千七百八圓、同臨時部は五萬八千二百五十二圓、是れを前年度と比較する時は歳入に於て一萬四千四百四十七圓を増し、歳出は經常部が六千五百卅三圓、臨時部が一萬四千四百四十八圓の各増を示して居る尙這般の豫算打合會の協議に基き新たに第四小學校敷地一萬五千坪の買収豫約金として七千五百圓を計上して居る点が注目に價する因に歳入出各款左記の如くである

歳入の部 (△印は減)	
科目	本年豫算
財産収入	一、四五四
使用及手数料	九一、九六二
交付金	四、三八四
國庫不渡金	二七、五〇一
就學獎勵金	二七三
國庫補助	五、一四一
縣補助金	七、八〇七
寄附金	二〇
繰入金	一八、〇〇〇
財産賣掛	一五、八二六
繰越金	八、〇〇〇
雑収入	一五、四四三
町税	一四一、一四九
合計	三三六、九六〇

歳出經常部	
科目	本年豫算
神社會費	七〇
會議費	一、七七二
役場費	四四、三七六
土木費	七、二二二
小學校費	七五、六三二
商業學校費	二二、七四七
公民學校費	六二二
訓練所費	九八八
學事諸費	四四八
虎眼豫防費	五〇〇
傳染病豫防	一、〇一七
傳染病院費	三、五八〇
汚物掃除費	六、四四一
水道事業費	一一、九三六
公園費	一、五八九
火葬場費	七九九
勸業費	五六〇
統計費	二九八
職業紹介費	二、六一〇
救助費	二二〇
救護費	一、五四九
警備費	五、八二八
徴發費	一
財産費	一、〇五九
諸稅負擔	二八三
公金取扱費	四九六
雜支出	二七
公債費	七四、二八五
戻入金	三、九二二
地方改良費	一、八五〇
合計	二七八、七〇八

磐女成績考查 磐城高等女學校にては來る廿七八の二日間全學年に對し第三學期考查試験を施行する

飯野村會招集 石城郡飯野村會は來る廿七日午前十時より開會八年度の豫算を附議する

歳出臨時部	
科目	本年豫算
土木費	七、二五四
小學校費	一、七八七
奉安庫建設	一、五〇〇
商業學校費	一、六四五
小學増築費	一八、五一六
公園費	八二
警備費	四、五四四
傳染病院費	二、四三〇
寄附金	一、一五〇
補助金	三、四七五
町是調査費	三〇〇
訴訟費	五
役場費	一、〇〇〇
水道費	七、七五四
火葬場費	一、五〇〇
土地拂下	一、三五〇
學校敷地買収	七、五〇〇
合計	五八、二五二

經濟更生の五ヶ年計劃

けふ第一回の打合會を開く

既報農林省の農山漁村經濟五ヶ年更生案に依る郡下各町村更生委員第一回の打合會は本日午前十時より平署會議室に於て開會、佐藤、五十嵐兩本縣技師出席のものに左記更生計劃に就き協議した

環境整理の實際を

明日教務主任が協議

既報石城郡下各小學校第一回教務主任會は明日午後二時より平第一小學校に於て水野縣視學臨席の下に開會兒童教養上環境整理の實際案及び其校に於ける兒童課外讀物調査に關する件を協議する外各校より提出せる左の事項に就いて討議するが終了後草野小學校星鷹喜の「修身と教育」と題する

一、各區教務主任會の活動狀況承りたし(湯本入山校)

一、情意教育に對する施設狀況承りたし(小名濱校)

一、兒童の學術成績及個性調査の狀況承りたし(鹿島校)

一、劣等兒童指導の良方法あらば承りたし(泉校)

一、兒童出席簿に私生子の名を入れない方案なきか(湯本校)

一、郷土室經營の實際を承りたし(第四區小學校會)

一、綴方教授者の活用狀況承りたし(第一區小學校會)

平町人事

回出生
△田町一七 當時石城郡植田町本町大塚新松氏二男 文雄

回死亡
△二丁目二六 當時石城郡湯本町字傾城四〇柏原源次(三五)

△六間門二〇 當時東京市杉並區裏川寺一ノ四四七 眞木幸枝(一ツ)

科人婦。科外 院醫坂井

町田町平
番九五五話電

五十町歩に 大植林

飯野村の計劃

石城郡飯野村では八年度事業として村有山林五十町歩に亘り二千圓を投じて大植林をなす計劃を樹て廿七日の村會に諮ると

青訓優良 賞品授與

石城教育會にては来る三月郡下青年訓練所生にして成績優良なる者を表彰する爲め目下調査中であるが賞

築港疑獄の 久保田醫師釋放

石城郡小名濱築港事務所長高等官三等樗木篤夫氏に工事請負で贈賄した同町醫師久保田眞氏は自身犠牲となつて同事件を曝露し平刑務所に收容され豫審中の所昨

公園で大園遊會

母校記念日に當り

商友會の催し種々

平商業學校にては来る五月十日の同校創立滿二十周年記念に各名産陳列即賣會を開き更に磐中と野球、庭球、弓道、柔剣道の各部

き左の如き原案を作成来る三月五日ハートモールの幹事商議員會に於て決定する事になつた

自力更正講演

石城郡下に於ける縣主催自力更正講演會は來月八日好間村九日磐崎村の各小學校

一少年が 繼母に怒られ

金を持ち出して逃走

昨廿三日夜九時頃平驛前を悄然と徘徊して居る兄弟らしい二少年があつたので平署員が事情を聞くに宮城縣伊具郡丸森町南下石山五郎(一)及弟輝雄(二)の兩名で

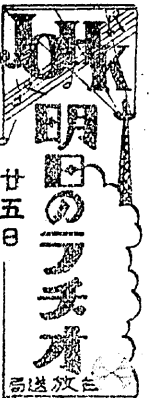
磐女生各家庭の 飲酒量と喫煙代

自力更生の參考資料に

磐城高等女學校にては自力更生の參考資料として生徒の各家庭に於ける一ヶ月間に飲酒量及び喫煙代等目下調査中である

友人の宅 から一寸失敬

石城郡澤渡村大字南下谷字



今晚は北西の風晴れ
明日も北西の風晴れ

今晚の部

後六、〇〇 子供の時間
物語「ヤング・アメリカ」
清水貞英
後七、三〇 講演「植物のモザイク病」宮崎高等農林學校教授農學博士日野

縣の木炭検査は 大体六月迄延期

濱三郡木炭同業組合では四月より實施される木炭縣營検査を一年延期されたこと既記の如く各組合と連絡を圖つて早川組合長其他が再三出縣運動せる結果六月迄延期する事に大体諒解を得た

南洋行の 實習生を募集

實習生を募集

南洋協會で養成する商業實習生五十名を募る旨本日平町役場に通牒あつたが希望者は實習後南洋各地商店に入り貿易に従事するのであつて二十才前後中等學校程度の學力を有する者希望者は三月廿日迄に町役場へ申込み度いと

新川改修 實地踏査

實地踏査

平町役場では本日午前十時より會議室に於いて匡救事業委員會を開き委員一同新川改修の實地踏査を行つた

裁縫教授 平第二校が 向上を圖る

平第二小學校にては近日小學校に於ける裁縫科教育の向上進歩を圖る爲め知名の指導者を招き指導教授並に研究會を開催する豫定である

明日の部

前九、一〇 料理献立「煮ごごり」小林忠雄
前一〇、三〇 家庭講座「豆細工雛人形の作り方」(二)大妻ユタカ
後〇、〇五 掛合斬「傘貸」豊年齊梅坊主
後二、〇〇 家庭大學講座「ラスキンの女性觀」御木本隆三

平職業紹介所報告

求人を求める方

- △染物外交員 三十六迄 尋卒 給料面談(平町某)
- △農夫 三十三才 年五十圓位(泉村某)
- △看護人 五十前後 月十五圓(錦村某)
- △雜夫 二十五才 尋卒 月十五圓位(江名町某)
- △土工夫 三十九才 尋三 給料面談(平町某)
- △女事務員 二十一才 平 給料面談(平町某)
- △陽卒 給料面談(平町某)
- △土木現場監督 三十才 高卒 給料面談(湯本町某)
- △印刷工 二十四才 高卒 給料面談(内郷村某)
- △鐵工道設計 二十三才 工學卒 給料面談(内郷村某)

幕末剣術

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒 圓玉演
近藤 紫雲畫
佐々木 見山

第二百七十五席

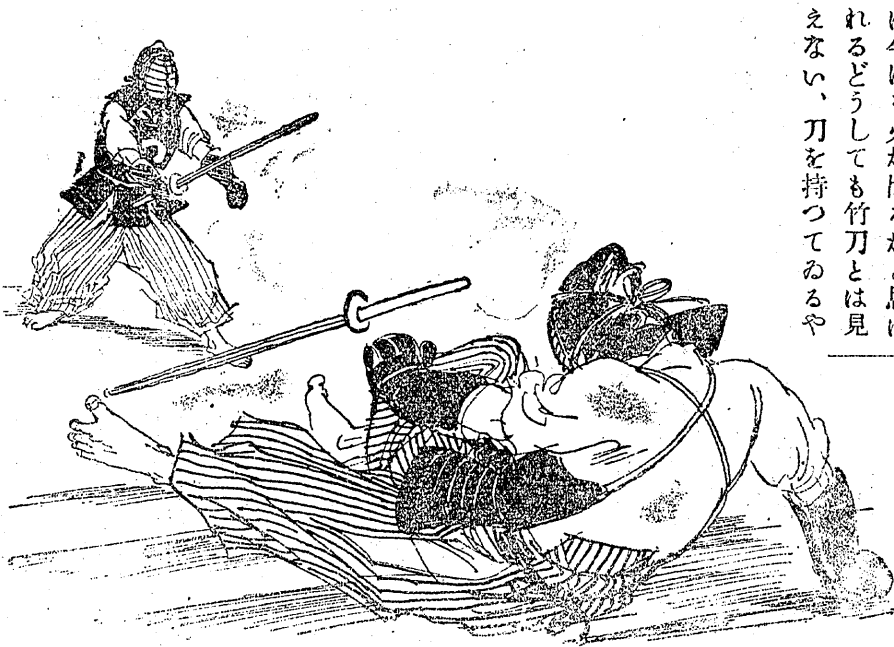
妻い見山の氣合
佐々木寅之助見山はニツコ
リ笑ひ

佐『イヤ千葉、小言を申すな、この眞田は氣骨ある人物だ、若い間は活氣がなければいかん、老年になると自然に角が取れて圓くなる貴公の代稽古するやうでは定めし出来るであらう又東海林も海保も傑出したものと豫て聞いて居る』

周『御賞美に與り恐れ入ります、しかし當道場にてはこの者共がどうやら武藝者らしき所もござる、コレ眞田老先生にひと手御指南を受けろ』

佐『望みとあらば教へて遣はす』
範『宜しく御指南下さる様は』
佐『よし、痛いところを二三本御見舞申すかな』

と云ひながら武者溜を降り道具を付け竹刀を持つてそれへ出た、眞田範之助は師の代理をも勤める者さすれば千葉の門人にては指を折られる人物、それに向つて佐々木はひと手教へて遣ると申した傲慢なり、打



据えて五色の息を吹かしてやらうとこれ亦竹刀を取つて進み寄つた、互に青眼に構へたが佐々木の竹刀からは今にも火が出るかと思はれるどうしても竹刀とは見えない、刀を持つてゐるや

うに感じられる、ヤ、ツと佐々木のかける氣合は眞田の全身にしみわたる何と、ても打込む事が出来ない、佐々木見山はビタリと竹刀を付けたまゝ眞田の體に目を付けてゐたが折々竹刀をブル／＼と動かす、それが

今にも打込むやう、それですからこつちは用心をする向ふの竹刀に計り目を付けてその竹刀の動く方に體を持つて行く、いつか道場を一周したした佐々木は一本の竹刀で眞田範之助を自由にする内に眞田は次第々々に疲れを生じ最早氣力も衰へ打を入れることは出来な

と云つた
佐『どうしたな打を入れる事はならんか、しかし流石に千葉の代稽古を致すだけあつて俺の掛けた氣合にふれる所があらう他の者なら打倒れて氣絶したすであら

う、それが竹刀のみ落したは忍らぬに思はす學べ』
イヤ眞田も佐々木の技にはびつくりした入れ、代つて東海林辨吉が出る、これも氣合を掛けられて竹刀を取落した、その次ぎに出たは海保半平これは下段につけると佐々木は片手上段に振冠つて小手下からデツと海保を睨んだがその凄いと道場に居つて門人は又しても海保先生が氣合で竹刀を落されるかと思つてゐた、この折用達より立戻つたは千葉の次男英次郎

と門人に尋ねた
中『他流試合が見えた』
英『なんだ他流試合が見えた今まで試合に参つた者も多々あるが眞田又海保と二ツ竹刀を合した事は無い』
中『イエ今日来た者は何時もの修業者とは違ひます、久留米の佐々木見山先生でございませう』

英『それは珍らしい人物が見えた平常より親父は佐々木先生を賞めてゐた劍道にのみ達して居る者ではない學者でそれも有用な學問をしたものだと思つてゐたが久留米の老先生がきたか』
中『名人でございませう眞田どの又東海林どのも打を入れることが出来ませう、エイと氣合を掛けられますと竹刀を取落しました、そんな事が出来るものでございませうか氣合で竹刀を打落すとは不思議でございま

す……』
英『不思議な事ではないその術の奥儀をさしめると人間わざでは出来ぬと思ふ様なことがある』
中『左様でございますか』
英『今誰が相手をいたし居る』
中『海保でございます』

英『ドレ見てやらう』
と道場に來て武者溜に居る父周作先生に會釋してこの試合の態をデツと見てゐた其内に佐々木の竹刀がサツと動いたかと思ふと海保半平は三間ばかり後列の方へ身體が飛びました、道場にゐる人々之を見てアツと云つた

耳鼻咽喉科専門

入院 應需
平町田町七〇番地
山内醫院
醫學士 山内亨吉
電話六九一

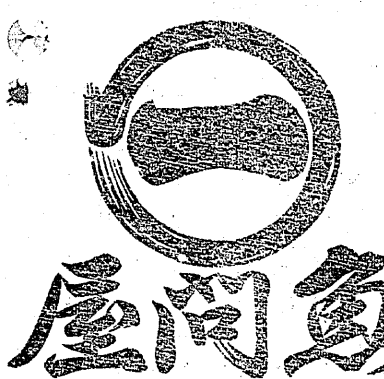
セメント 磐城セメント株式會社
壁用材料
コールタール 代理店 西村屋藥舖
ペンキ塗料
板ガラス 平町二丁目 電三

大人も子供も白熱的大歡迎
ヨロヨロが來ました
世界的流行玩具一ヶ金五錢
平驛前 いづみや玩具店

中村齒科醫院
平町鍛冶町七

御贈答品

磐城名産



最優最 志平 大賀 日盛 本盛 命盛 代理店 榮盛 番三一電